

計画 12 住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ

< 5 年後の目標 >

(仮称)練馬区エネルギービジョンに基づく、練馬区の地域特性にふさわしい自立分散型のエネルギー社会へ向けた取組の推進

5 か年の取組

1 エネルギー政策の基本的考え方

これまで国家的、広域的課題とされてきたエネルギー政策を、基礎的自治体である練馬区が行政計画として取り上げるのは、東日本大震災などを背景とする大きな時代の変化があったことによります。

小型発電機やコジェネレーション(1)等の分散型発電技術が飛躍的に発展したこと、従来の大規模集中型電力システムの脆弱性と全体としてのエネルギー利用効率の限界などが明らかになったことです。

そこで、大都市東京の一角にある住宅都市練馬の地域特性を活かしながら、災害時のエネルギーセキュリティの確保と、平時における自立分散型エネルギー社会の実現という視点にたって、練馬区にふさわしいエネルギー政策を展開します。

2 取組の方向性と5か年の取組

以下の視点を基本とし、(仮称)練馬区エネルギービジョン検討会議や区民の意見を踏まえて、平成27年度に(仮称)練馬区エネルギービジョンを策定し、取組を推進します。

(1) 災害時のエネルギーセキュリティの確保

災害時に区民の安全・安心を確保するため、避難拠点である小中学校、病院などの医療機関、福祉避難所となる福祉施設などでの自家発電機能の充実、蓄電設備の導入を進めます。

(2) 自立分散型エネルギー社会への取組の推進

電力、ガス、再生可能エネルギーなど様々なエネルギーのベストミックスを基本とする自立分散型エネルギー社会の実現に向けて取り組みます。

コジェネレーション等の導入促進

コジェネレーションや家庭用燃料電池(2)の導入を促進します。

再生可能エネルギーの利用促進

太陽光発電などの再生可能エネルギーを最大限活用します。

清掃工場の活用

区内に2か所ある清掃工場でのごみ焼却から発生する熱や発電した電気の利用を拡充する仕組みを検討します。

防災・環境・まちづくりとの連携

木造住宅密集地域の改善、CO₂の排出量の削減施策、再開発などのまちづくりと連携して自立分散型エネルギー社会の実現をめざします。

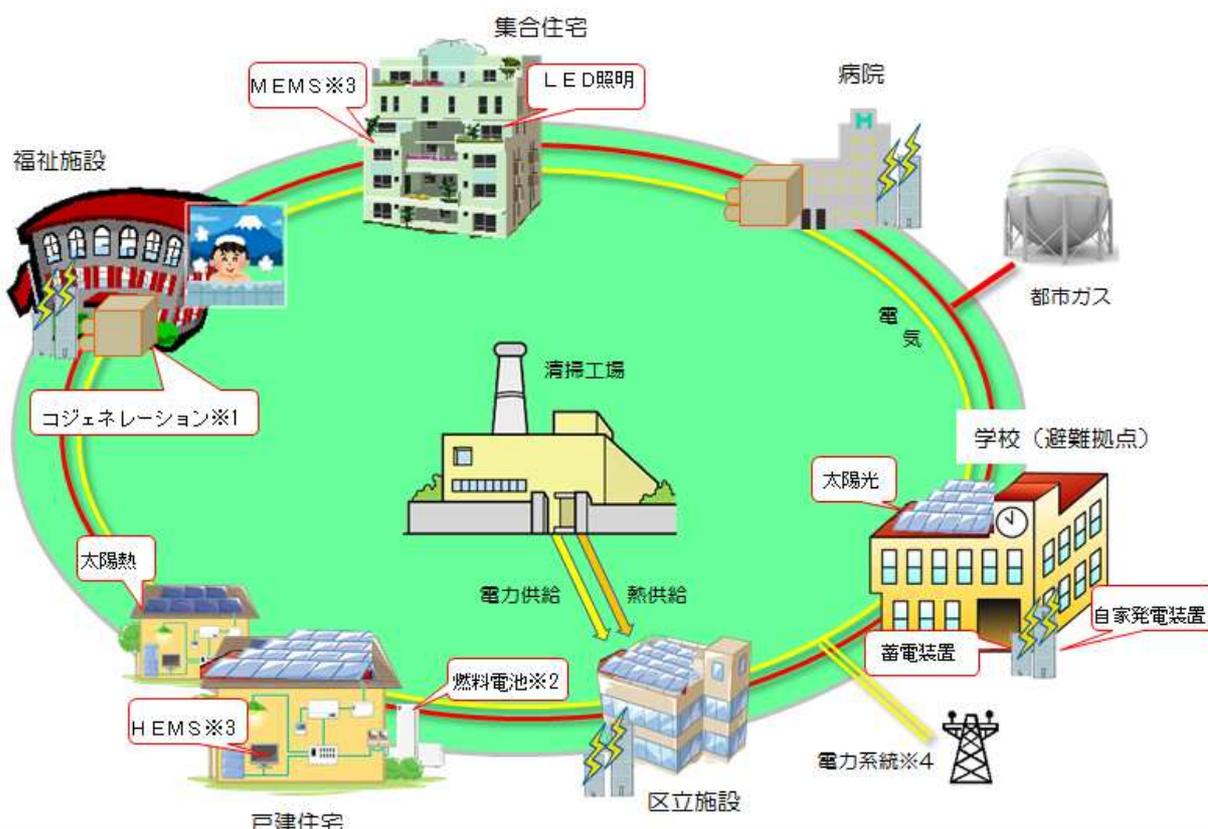
スマートエネルギーネットワークの取組

エネルギーのベストミックスを実現するため、ICT（情報通信技術）を活かした地域単位のスマートエネルギーのネットワーク化に取り組みます。

(3) 省エネルギーへの取組

災害時のエネルギーセキュリティの確保や自立分散型エネルギー社会への取組の推進にあわせ、省エネ型住宅、省エネ家電などの普及促進や、環境教育、節電啓発、省エネ型ライフスタイルへの誘導などに取り組みます。

自立分散型エネルギー社会のイメージ図



- 1 コジェネレーション... 発電の際に排出する熱を給湯や暖房などに利用するシステム。
- 2 燃料電池... 水素と酸素の電気化学的な反応により発電する装置。
- 3 EMS (Energy Management System) ... エネルギーの利用状況を見える化し、簡単に制御ができるシステム。戸建住宅はHEMS、集合住宅はMEMS。
- 4 電力系統... 発電、送電、変電、配電など発電所から消費者へ電気が届くまでの一連の設備。